





丙申 陸奥 津波 實況



時、惟れ明治二十

九年六月十五日、岩手

宮城、青森の三縣海邊に

起り、大海嘯、實に猛烈を極つ

たり。此日、恰も舊曆の端午にて、家族友

人相會し、宴飲叙を盡し、ついで、阿り、が突

然、沖合に當つて巨砲を發したるが如し、

あり人々怪し、屋外に出ると、是より一瞬、

文の狂瀾襲ひ來り、三方より、近き人命を

家室と共に掃せり、幸ふれば、

或は為す不具者とす、或は身

ふに粟なく、其慘痛凄愴な

るの状能く筆舌の盡

す所ならず、

南江